

社会生活の自立度評価表 結果公表

NPO法人ソーシャルデザインワークスでは、令和6年より取り組み始めた「社会生活の自立度評価指標(SIM)」を公表いたします。各個人のプライバシーや進捗状況は異なるため全体としての平均を算出しての公表とさせていただきますので、ご了承ください。卒業時の平均値につきましては、対象者が少ないため、今回の公表は控えさせていただきます。次回は令和7年3月公表予定です。

令和6年度 自立訓練(生活訓練)(令和6年10月時点)

1. SIM実施者数

	人数
入所時SIM評価	23名
退所時SIM評価	0名

2. 各項目の合計(入所時・卒業時)

	項目 (点数は1～7)	入所時 平均値	入所時 中央値	卒業時 平均値	卒業時 中央値
社会生活を維持するための活動	体調面が安定している	3.52	5	—	—
	決められた通院と服薬管理ができる	4.74	5	—	—
	体調や気分が悪い時に自覚し自己で対処ができる	3.57	4	—	—
	睡眠が安定している	4.17	4	—	—
	金銭管理が一人で行える	3.87	4	—	—
	家事(調理は含まない)が一人で行える 掃除・ゴミ出し・洗濯	3.83	3	—	—
	買い物(移動は含まない)が一人で行える	5.52	4	—	—
	調理が行える 献立づくり、調理、配膳、片付け、食材の管理等	3.74	5	—	—
	生活のセルフマネジメント(安全な社会生活が送れる)	3.61	4	—	—
社会の一員とし	挨拶や基本的なコミュニケーションができる	5.00	5	—	—
	相手に意思を伝えたり、他人の話を聞く事ができる	4.30	5	—	—
	感情のコントロールができる (注意時・疲労時など)	3.91	4	—	—
	困ったときに相談や支援を求めることができる	3.52	4	—	—

て積極的に参加するための活動	本人の将来の目標が明確か (就職・福祉的就労など)	3.96	4	—	—
	予定通り休まず通所(出勤)することができる	3.78	3	—	—
	事業所の活動に必要な報告・連絡・相談ができる	4.04	4	—	—
	事業所を休む時や遅れる時に連絡ができる	4.78	5	—	—
	与えられた業務を期限内に行うことができる。 集中して行える	4.39	4	—	—
	(公共交通機関・自動車のどちらか) 利用して外出ができるか	5.26	6	—	—
	新しい活動や集団での活動に参加できる	4.00	4	—	—
	事業所の環境や人的環境の変化への対応ができる	3.74	4	—	—
	事業所外での余暇的な活動ができる	4.48	5	—	—
共通項目	自らの意思で制度やサービスを 活用・継続していける	4.70	5	—	—
合計(23~161)		67.2	72.0	—	—

3. 支援する上での所見(一部抜粋)

金銭管理や服薬、感情のコントロールなどが、特に他者の力を必要とする部分である。フォーマル・インフォーマルな社会資源を活用しつつ、ご自身でできる工夫を一緒に考えていけると良い。

体調面やコミュニケーション面に関しては、比較的低い数字が出ている。相手に意志を伝えたり、他者と物事を進める際のコミュニケーション面が影響して、体調を崩す可能性がある。可能性を考慮し、支援や訓練をおこなうことで、体調が安定するかもしれない。